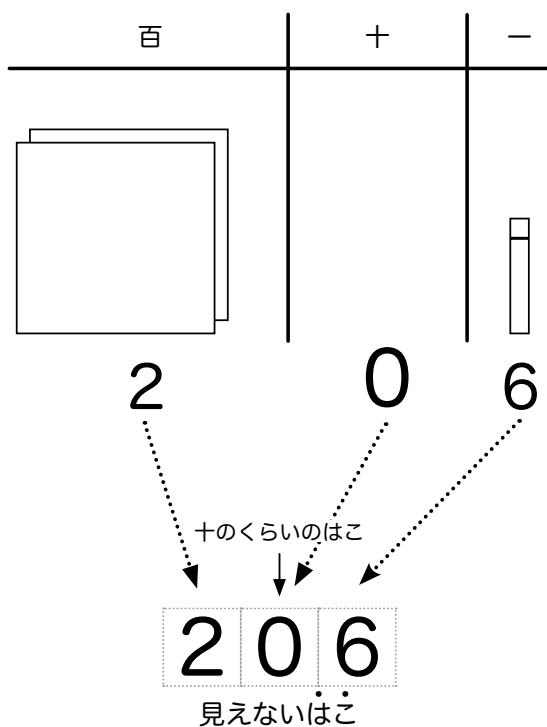


# 3けたの数



年 組

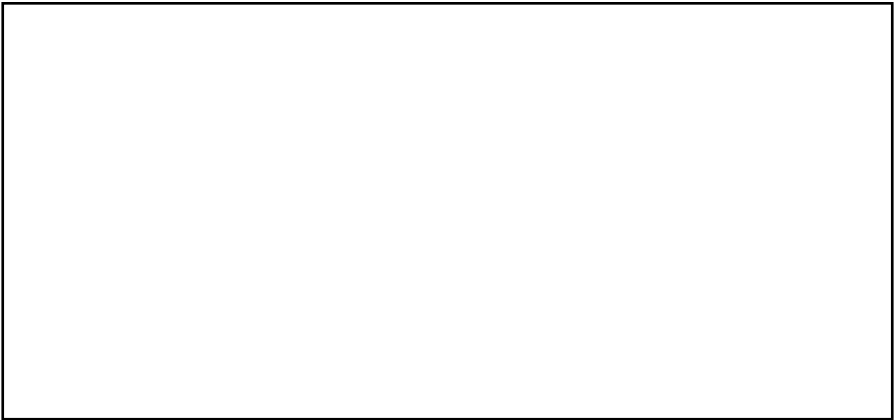
名前

ここに、せとものタイルが入ったビニールぶくろが、はんの数だけあります。どのぶくろにも、同じ数だけタイルが入っています。

これから、それぞれのはんでタイルの数を数えます。じっさいに数える前に、どんな数え方があるか、話し合っておきましょう。

まず、自分のい見を書きましょう。

### 【自分のい見】



### 【話し合い】

話し合きましょう。

話し合うと、いろいろな数え方が出てきました。

それらの中で、10こずつのタイルの山を作って数える方ほうが、一番まちがいが少なくなります。

それでは、じっさいにタイルの数を数えてみましょう。

自分のはんのタイルの数：

10こずつの山の数	のこりの数

ほかのはんのタイルの数：

10こずつの山の数	のこりの数

## 【作ぎょう 1】

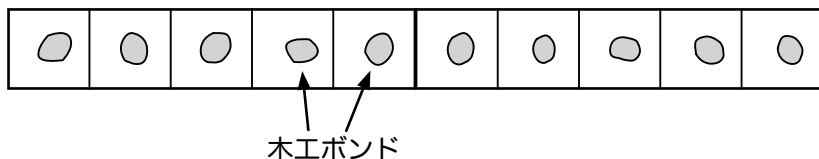
10 こずつのタイルの山を、十のぼうタイルにしましょう。

先生から、10 こずつのタイルの山の数だけ〈十タイルの台紙〉をいただいて、タイルをこの台紙に木工ボンドではりましょう。

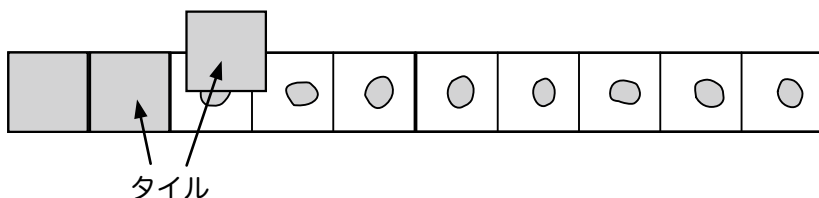
### 《十タイルを早くきれいに作るための工夫》

小さい入れものに入った木工ボンド<sup>\*</sup>とノートを2さつ用います。

① 〈十タイルの台紙〉に木工ボンドをつけます。

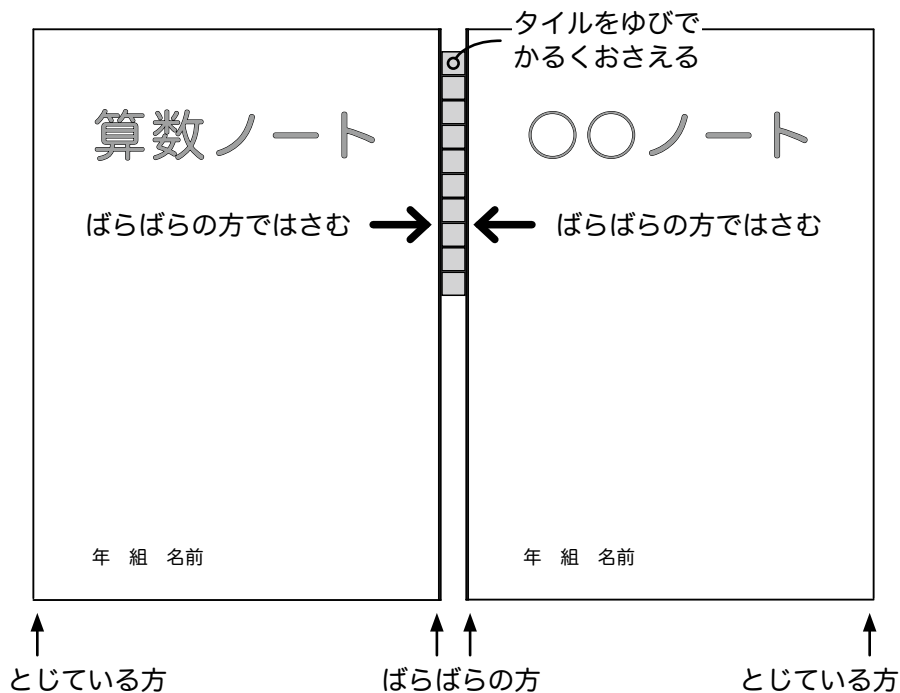


② タイルをのせます。



※先生方へ：ここでは出口が細い50g入りのコニシ(株)の木工ボンドを使っています。

- ③ タイルと台紙を 2つのノートのばらばらの方ではさんで、タイルをそろえます。同時に、タイルをゆびで かるくおさえます。



- ④ できた十のぼうタイルをつくえのはしの方へうごかします。かた方のノートでおしてうごかすとよいでしょう。

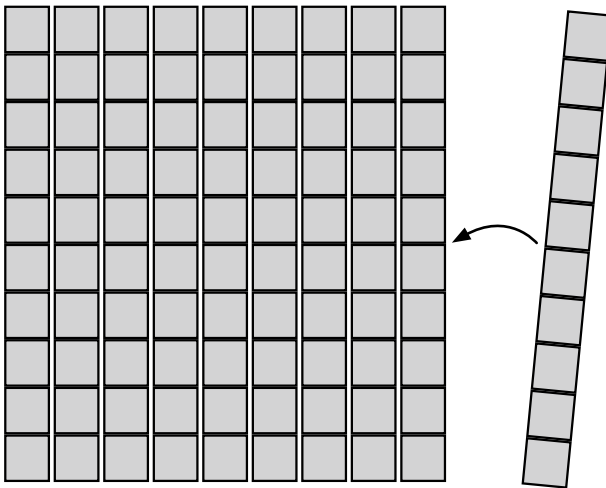
①から同じことをくりかえして、つぎの十のぼうタイルも作ります。

十のタイルが 23 本 できましたか。のこりの一の  
タイルは 6 こ ですね。

## 【作ぎょう 2】

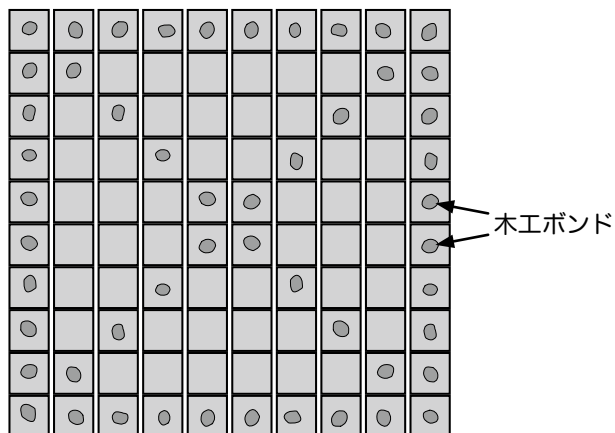
先生から〈大きなタイルの台紙〉をいただきますよう。

- ①十のぼうタイルをタイルの方を上にして、10 本な  
らべます。

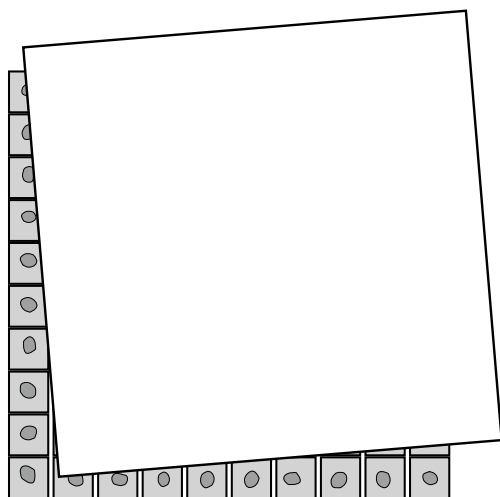


きれいにそろえてならべます

②下図のように木工ボンドをつけます。

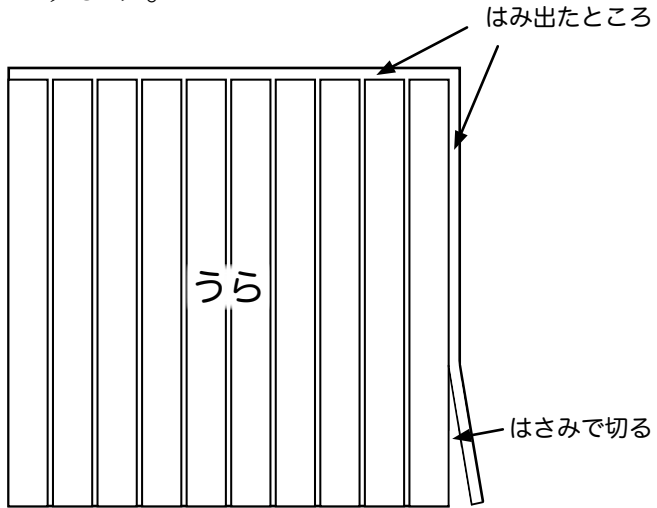


③上から〈大きなタイルの台紙〉をのせ、はり合わせます。〈大きなタイルの台紙〉は少し大きめにつくってあります。

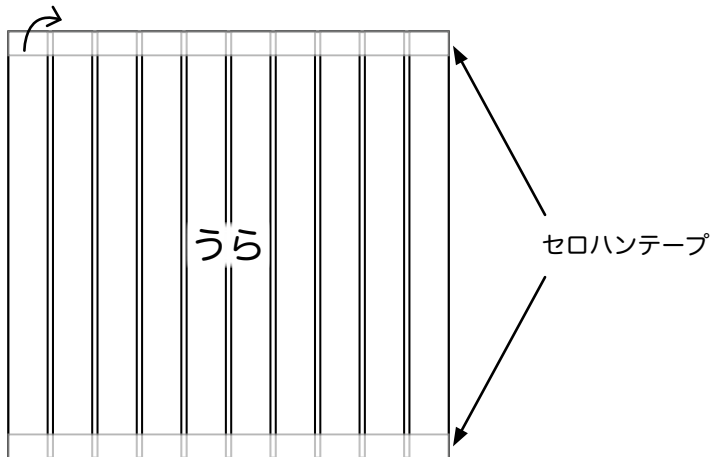


④もう1まい〈大きなタイルの台紙〉をいただいて、同じことをします。

- ⑤ 〈大きなタイルの台紙〉のはみ出たところを はさみで切りとります。



- ⑥ 2かしょをセロハンテープでまくと できあがりです。



※お家の方へ：幅が18mmのセロハンテープが適応します。



この大きなタイルは、「1まい」「2まい」と「まい」をつけて数えることにします。大きなタイルが2まいできましたか。

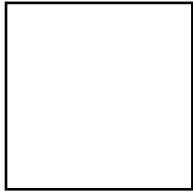
この大きなタイルは、十のタイルが10本あつまつてできるタイルで、このタイルのことを「百のタイル」といいます。百のタイルが、

1まいで	<sup>ひゃく</sup> 百	2まいで	<sup>にひゃく</sup> 二百
3まいで	<sup>さんひゃく</sup> 三百	4まいで	<sup>よんひゃく</sup> 四百
5まいで	<sup>ごひゃく</sup> 五百	6まいで	<sup>ろっぴゃく</sup> 六百
7まいで	<sup>ななひゃく</sup> 七百	8まいで	<sup>はっぴゃく</sup> 八百
9まいで	<sup>きゅうひゃく</sup> 九百		

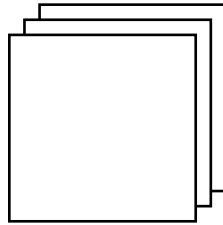
といいます。

# 【れんしゅう 1】

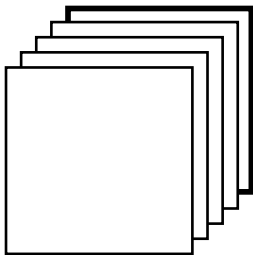
つぎの数をひらがなでかきましょう。



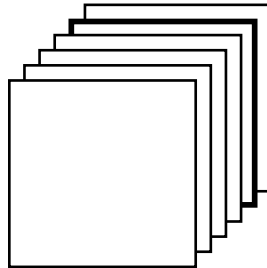
(            )



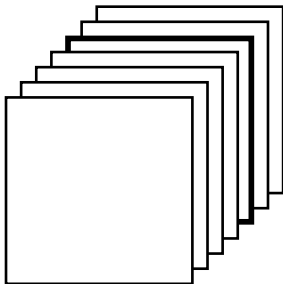
(            )



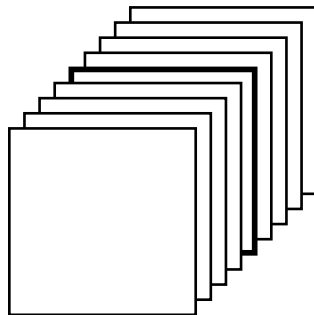
(            )



(            )

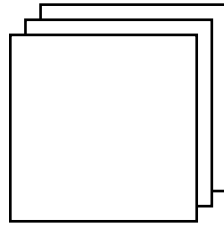


(            )

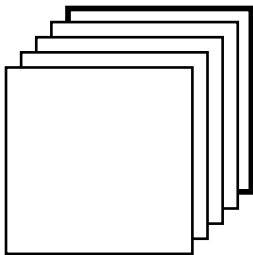


(            )

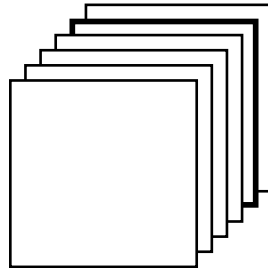
【れんしゅう 1 の答え】



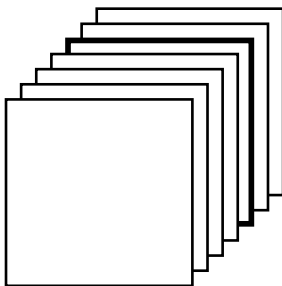
(さんびやく)



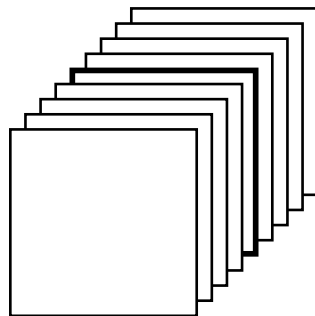
(ごひやく)



(ろっぴやく)



(ななひやく)



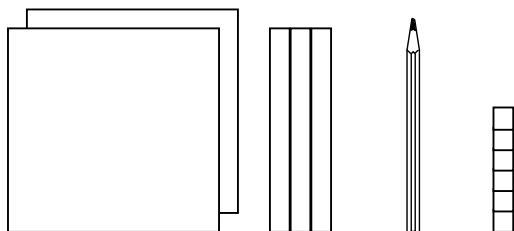
(きゅうひやく)

## 【しつもん】

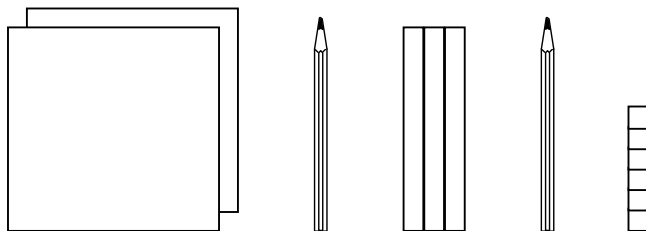
「百のタイル」と「十のタイル」と「一のタイル」のおき場しよを考えましよう。

あなたはどうおくのが、いいと思いますか。

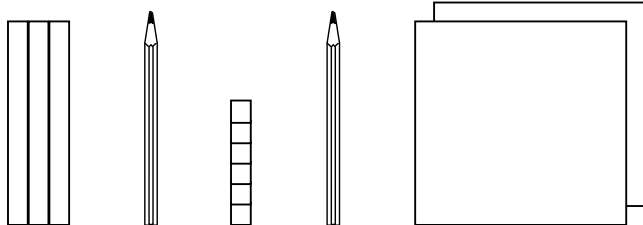
ア



イ



ウ

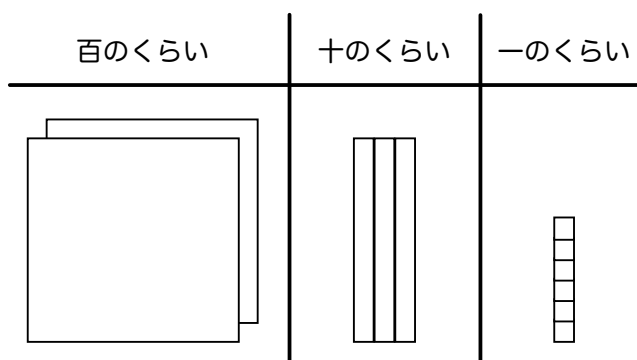


自分の考え (      )

「百のタイル」は、「十のタイル」の左におきます。「十のタイル」は、「一のタイル」の左でしたね。

左に行くごとに、大きな数のタイルをおくのです。

「百のタイル」は、「百のくらい」のはこを作って入れます。



それでは、せともののタイルの数を数えてみましょう。

「百のタイル」が2まいで 「にひゃく」

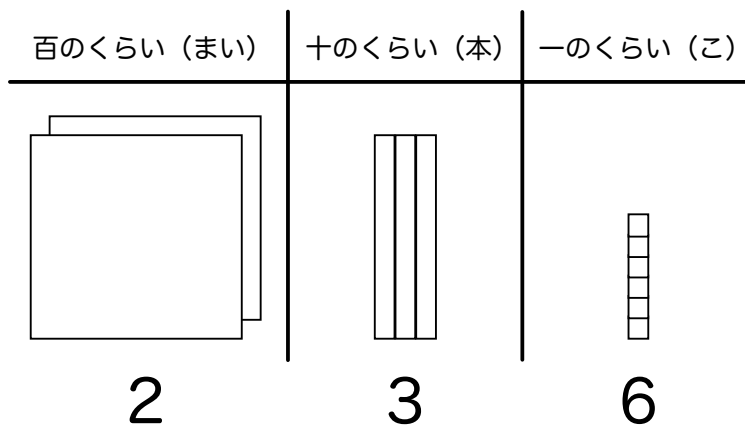
「十のタイル」が3本で 「さんじゅう」

「一のタイル」が6こで 「ろく」

だから、せともののタイルの数は、

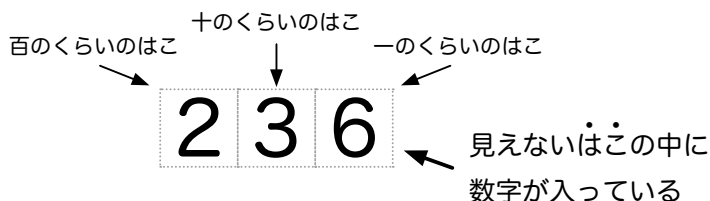
「にひゃく さんじゅう ろく」こです。

「にひゃくさんじゅうろく」を数字で書くには、それぞれのくらの<sup>は</sup>こ<sup>の</sup>ところに、「まい」「本」「こ」の数字を書きます。



「236」は、数字が3つならぶので、「3けたの数」といいます。

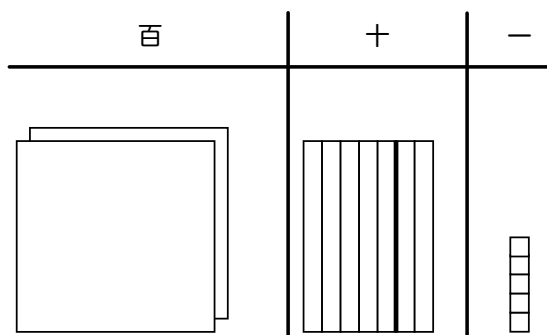
この3けたの数は、いつも一番右が「一のくらい」、右から2つ目が「十のくらい」、右から3つ目が「百のくらい」です。3けたの数字を書く時には、<sup>は</sup>こ<sup>の</sup>は書きませんが、見えない<sup>は</sup>こ<sup>の</sup>の中に数字が入っていることになります。



## 【れんしゅう 2】

タイルを見て、答えましょう。

れい

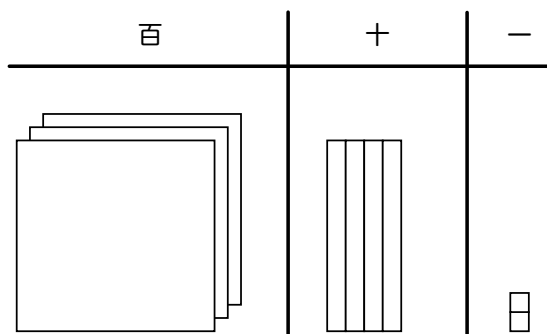


タイル：（ 2 ）まい（ 7 ）本（ 5 ）こ

読み：（ にひゃく ななじゅう ご ）

数字：（ 275 ）

①

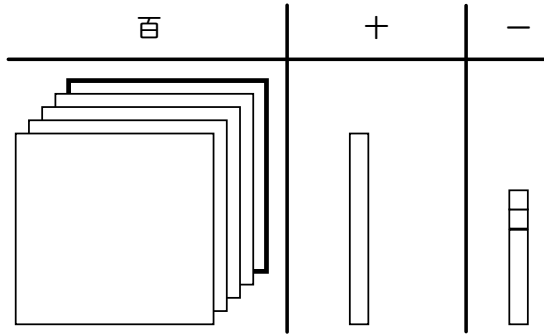


タイル：（ ）まい（ ）本（ ）こ

読み：（ ）

数字：（ ）

②

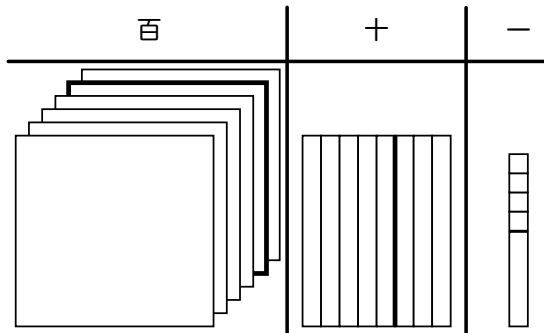


タイル： ( ) まい ( ) 本 ( ) こ

読み： ( )

数字： ( )

③



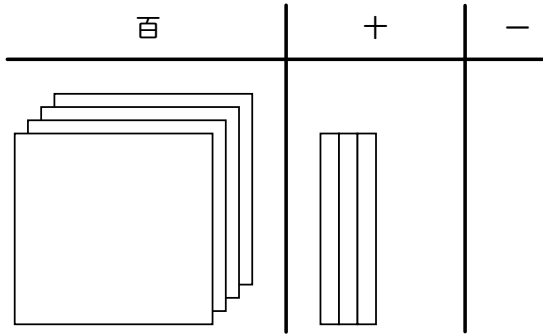
タイル： ( ) まい ( ) 本 ( ) こ

読み： ( )

数字： ( )



④

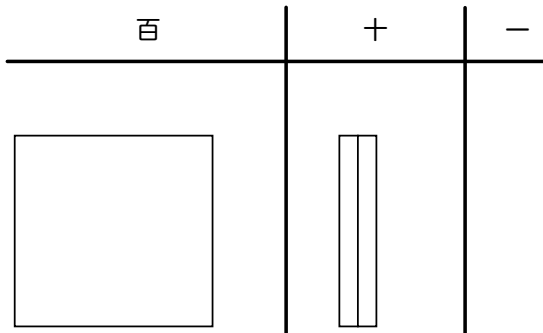


タイル：（ ）まい（ ）本（ ）こ

読み：（ ）

数字：（ ）

⑤



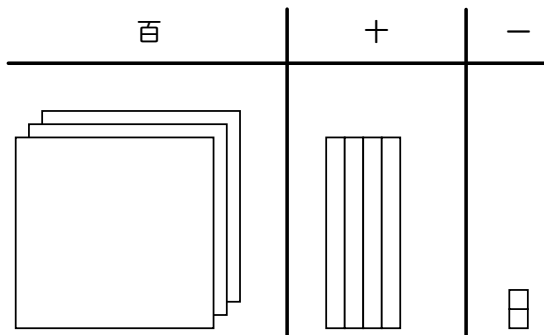
タイル：（ ）まい（ ）本（ ）こ

読み：（ ）

数字：（ ）

# 【れんしゅう 2 の答え】

①

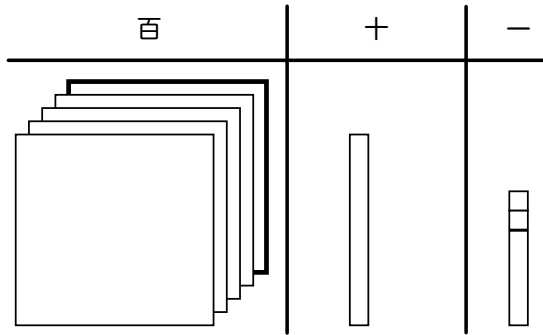


タイル：（ 3 ）まい（ 4 ）本（ 2 ）こ

読み：（ さんびゃく よんじゅう に ）

数字：（ 3 4 2 ）

②

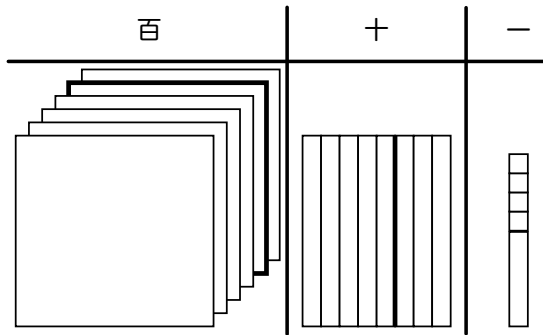


タイル：（ 5 ）まい（ 1 ）本（ 7 ）こ

読み：（ ごひゃく じゅう しち（なな） ）

数字：（ 5 1 7 ）

③

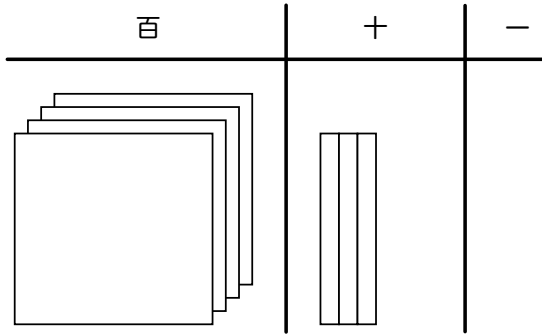


タイル：（ 6 ）まい（ 8 ）本（ 9 ）こ

読み：（ ろっぴゃく はちじゅう きゅう ）

数字：（ 6 8 9 ）

④

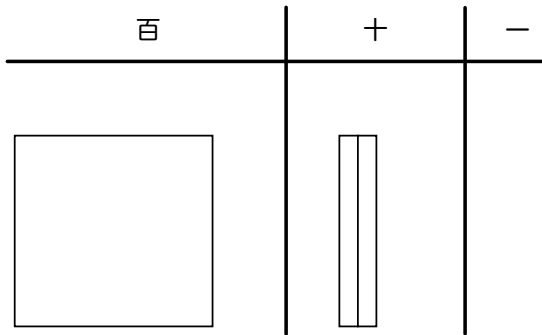


タイル：（ 4 ）まい（ 3 ）本（ 0 ）こ

読み：（ よんひゃく さんじゅう ）

数字：（ 430 ）

⑤



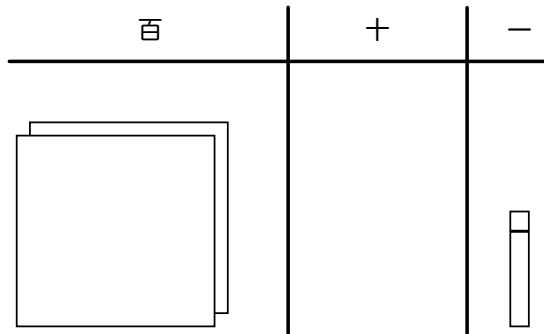
タイル：（ 1 ）まい（ 2 ）本（ 0 ）こ

読み：（ ひゃく にじゅう ）

数字：（ 120 ）

## 【もんだい 1】

つぎの時、数字で書くには、どう書けばよいと思いますか。



ア 2006 ( ) 人

イ 206 ( ) 人

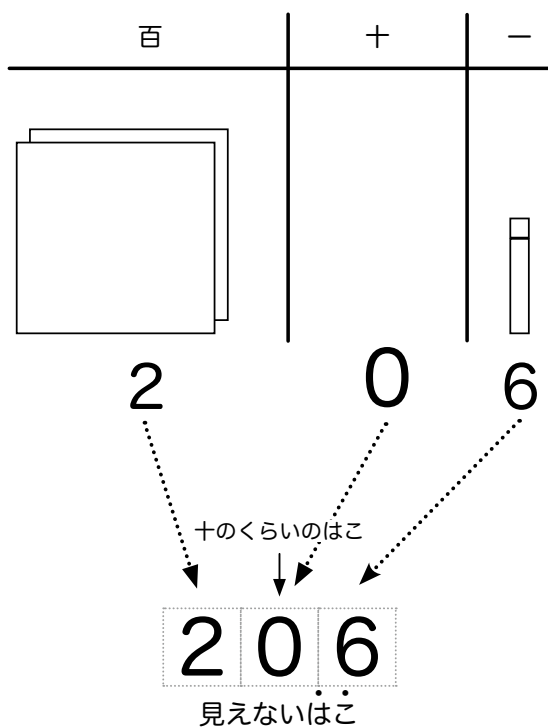
ウ 2 6 ( ) 人

## 【いけん】

どうしてそう思いますか。いけんのある人は、はっぴょうしましょう。

【もんだい1】の答えは、イの「206」です。

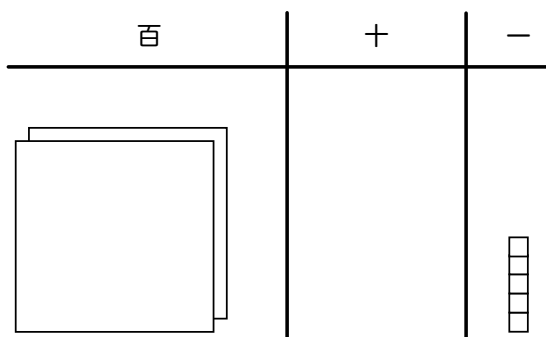
十のくらいのはこに、何も入っていない時は、見えない十のくらいのはこに「0」を書きます。見えない十のくらいのはこは、いつも右から2つ目にあります。



### 【れんしゅう 3】

タイルを見て、答えましょう。

①

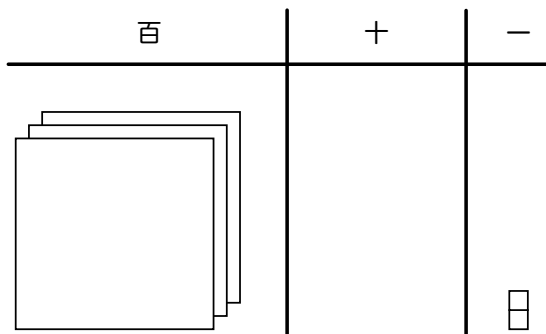


タイル：（ ）まい（ ）本（ ）こ

読み：（ ）

数字：（ ）

②

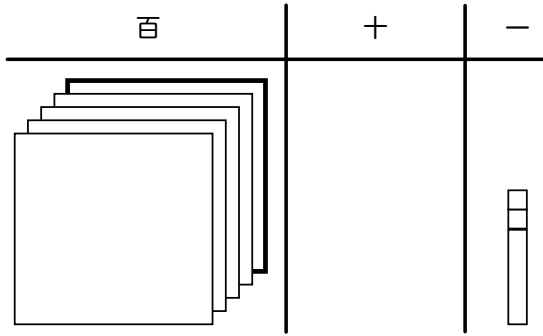


タイル：（ ）まい（ ）本（ ）こ

読み：（ ）

数字：（ ）

③

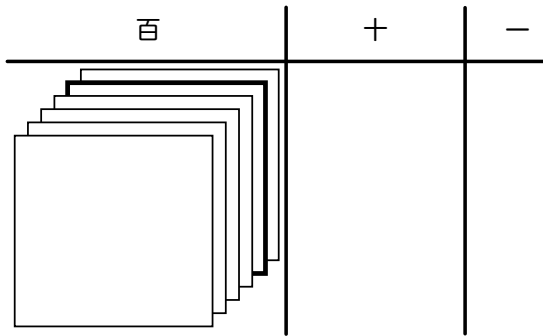


タイル： ( ) まい ( ) 本 ( ) こ

読み： ( )

数字： ( )

④



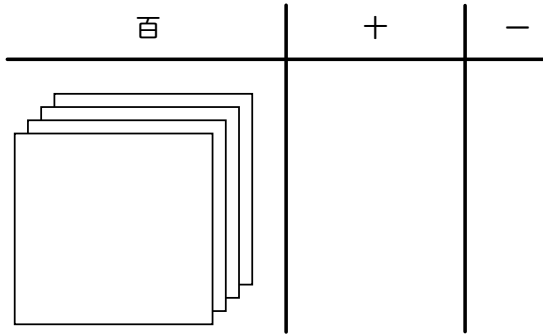
タイル： ( ) まい ( ) 本 ( ) こ

読み： ( )

数字： ( )



⑤

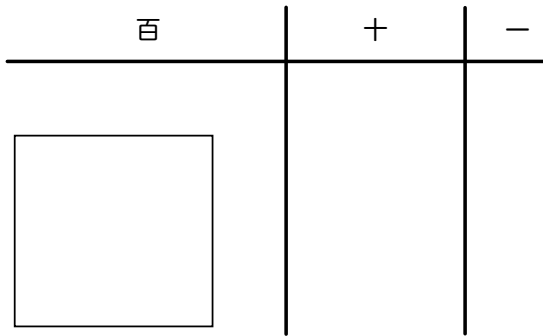


タイル： ( ) まい ( ) 本 ( ) こ

読み： ( )

数字： ( )

⑥



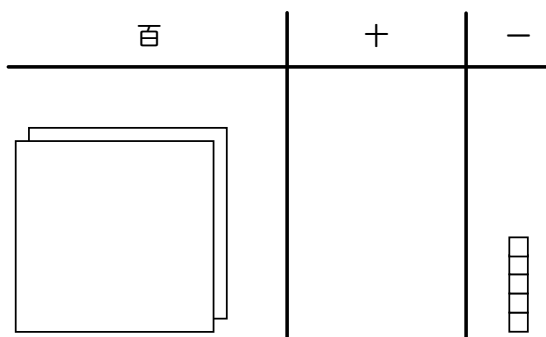
タイル： ( ) まい ( ) 本 ( ) こ

読み： ( )

数字： ( )

## 【れんしゅう 3 の答え】

①

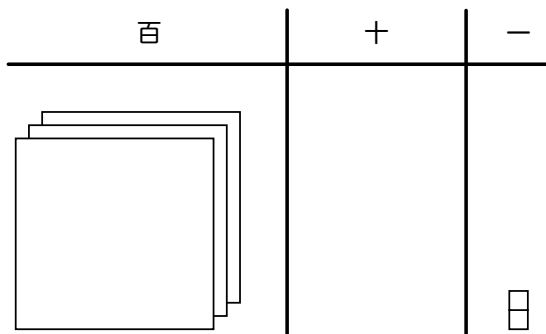


タイル：（ 2 ）まい（ 0 ）本（ 5 ）こ

読み：（ にひゃく ご ）

数字：（ 205 ）

②

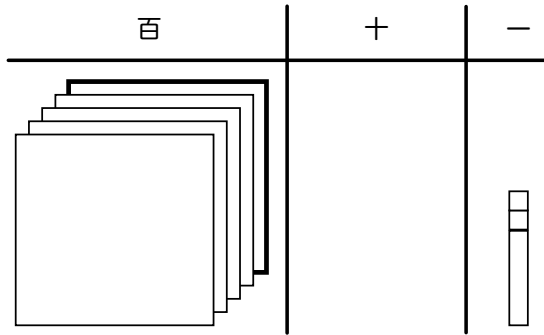


タイル：（ 3 ）まい（ 0 ）本（ 2 ）こ

読み：（ さんびゃく に ）

数字：（ 302 ）

③

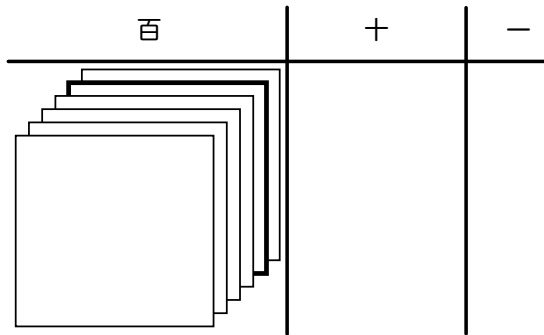


タイル：（ 5 ）まい（ 0 ）本（ 7 ）こ

読み：（ ごひゃく なな ）

数字：（ 507 ）

④

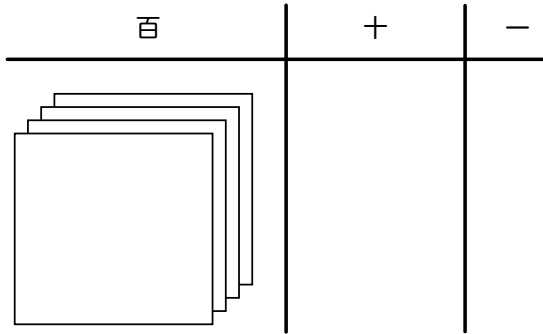


タイル：（ 6 ）まい（ 0 ）本（ 0 ）こ

読み：（ ろっぴゃく ）

数字：（ 600 ）

⑤

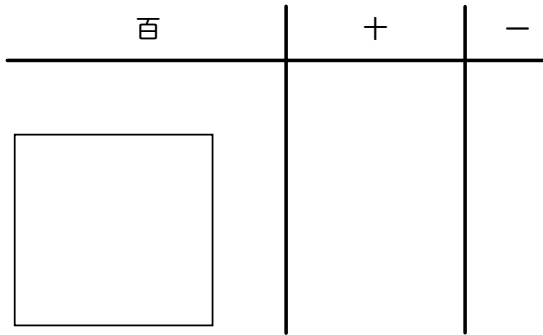


タイル：（ 4 ）まい（ 0 ）本（ 0 ）こ

読み：（ よんひゃく ）

数字：（ 400 ）

⑥



タイル：（ 1 ）まい（ 0 ）本（ 0 ）こ

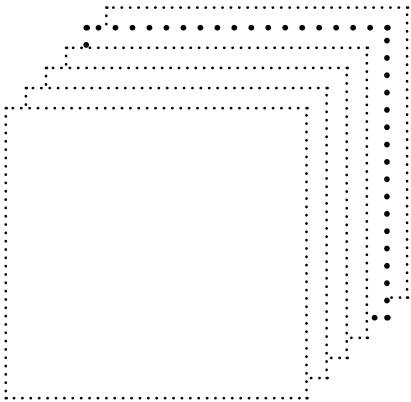
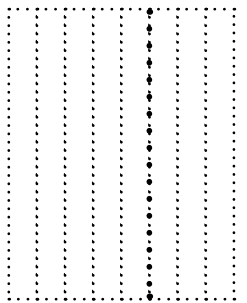
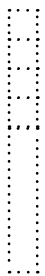
読み：（ ひゃく ）

数字：（ 100 ）

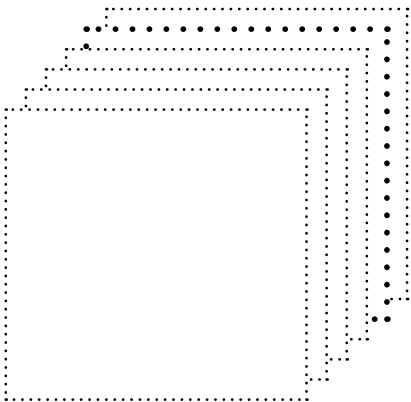
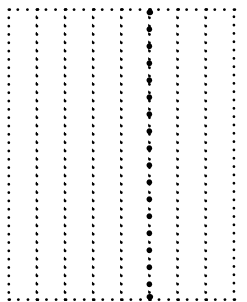
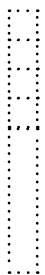
# 【れんしゅう 4】

数字を見て、点線をなぞってタイルをかきましょう。

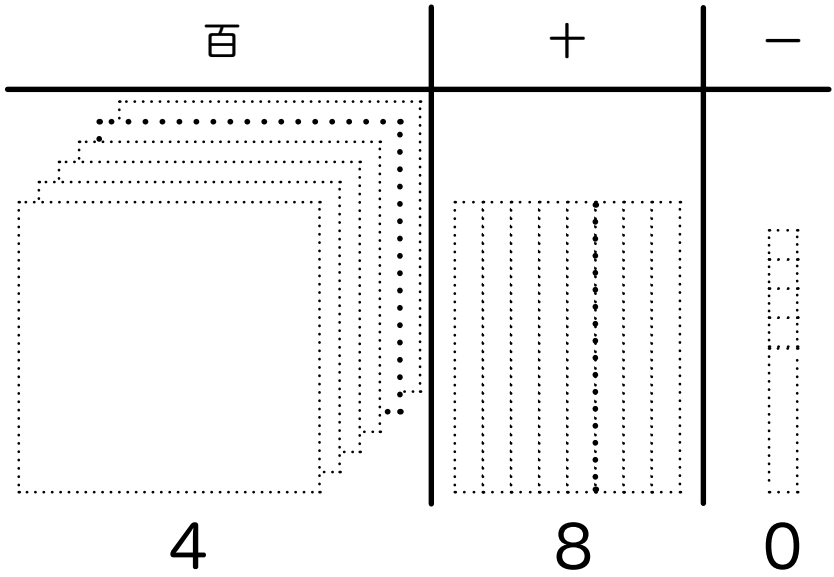
①

百	+	-
		
3	4	5

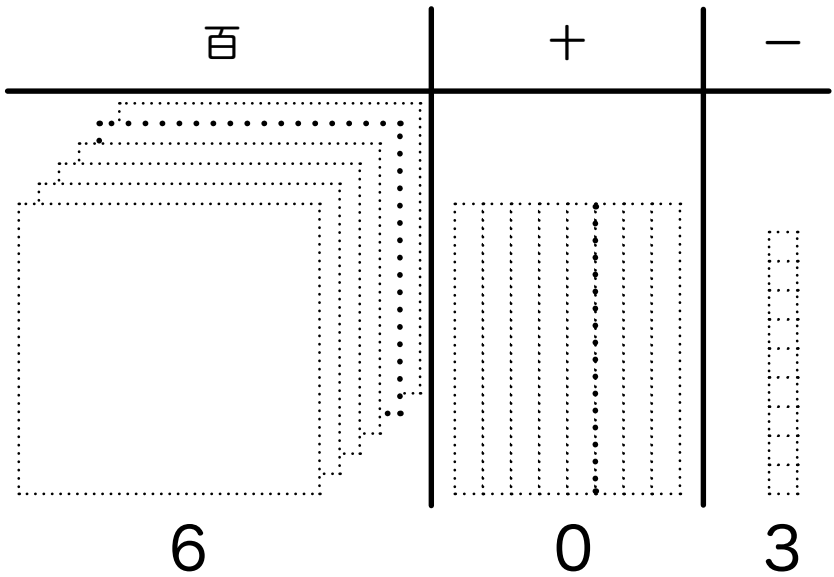
①

百	+	-
		
5	7	6

③

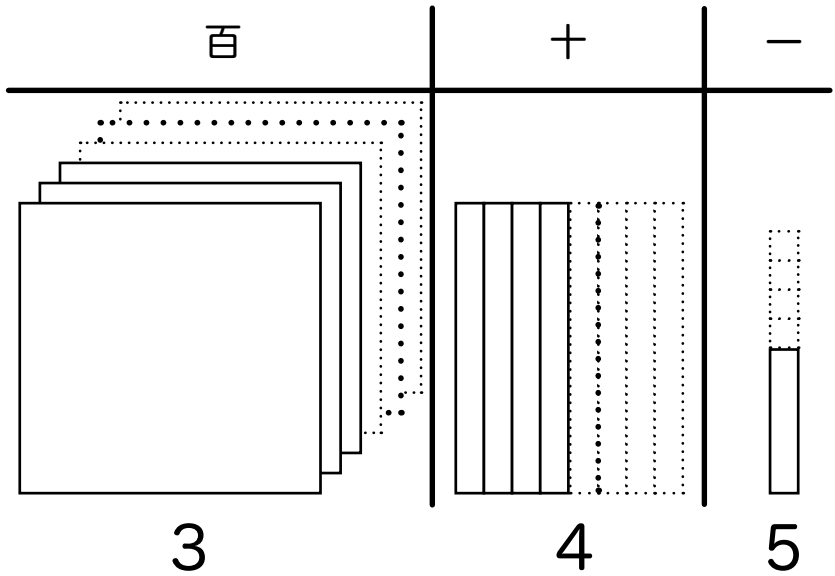


④

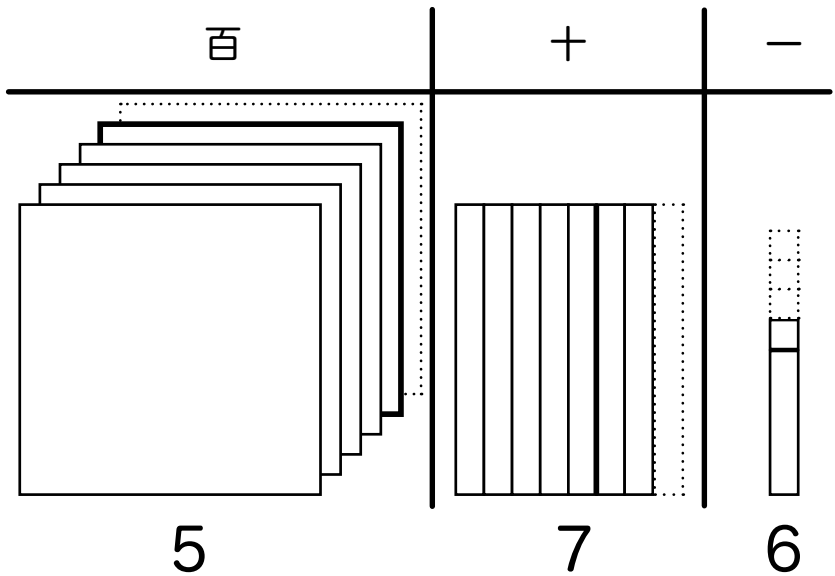


# 【れんしゅう 4 の答え】

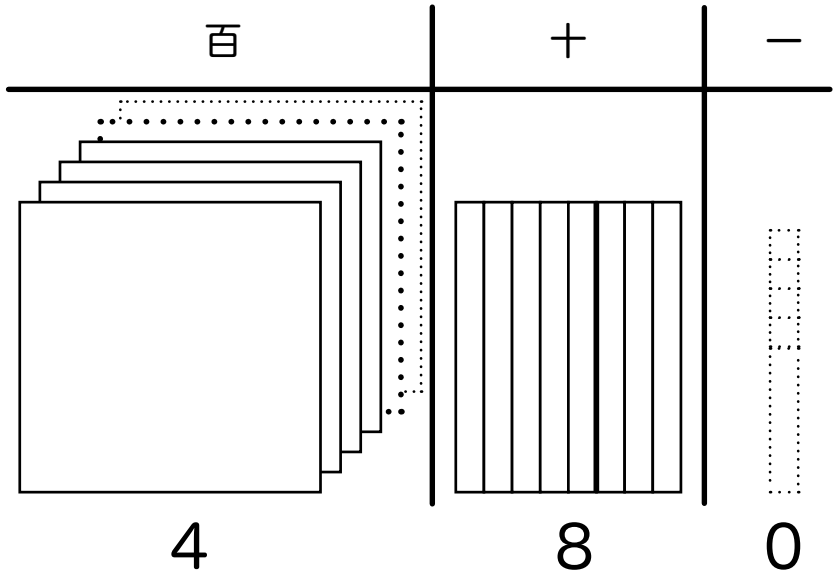
①



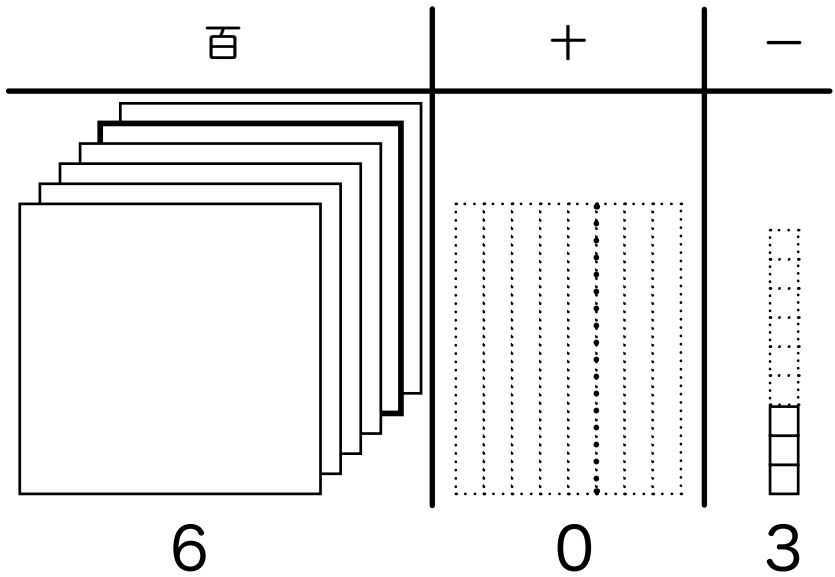
①



③



④





## 【れんしゅう 5】

数字の読みをひらがなで書きましょう。

① 492 ( )

② 763 ( )

③ 254 ( )

④ 370 ( )

⑤ 630 ( )

⑥ 506 ( )

⑦ 105 ( )

⑧ 809 ( )

⑨ 900 ( )

⑩ 300 ( )

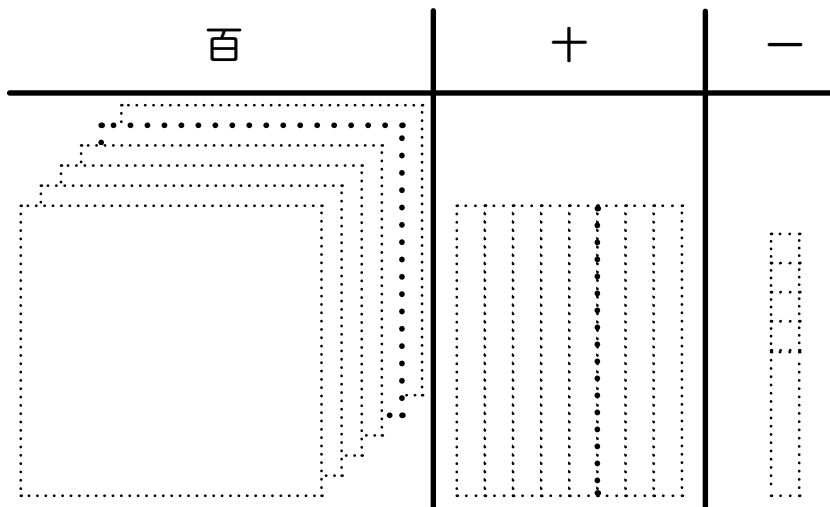
## 【れんしゅう 5 の答え】

- ① 492 ( よんひゃく きゅうじゅう に )
- ② 763 ( ななひゃく ろくじゅう さん )
- ③ 254 ( にひゃく ごじゅう よん <sup>[し]</sup> )
- ④ 370 ( さんびゃく ななじゅう )
- ⑤ 630 ( ろっぴゃく さんじゅう )
- ⑥ 506 ( ごひゃく ろく )
- ⑦ 105 ( ひゃく ご )
- ⑧ 809 ( はっぴゃく きゅう )
- ⑨ 900 ( きゅうひゃく )
- ⑩ 300 ( さんびゃく )

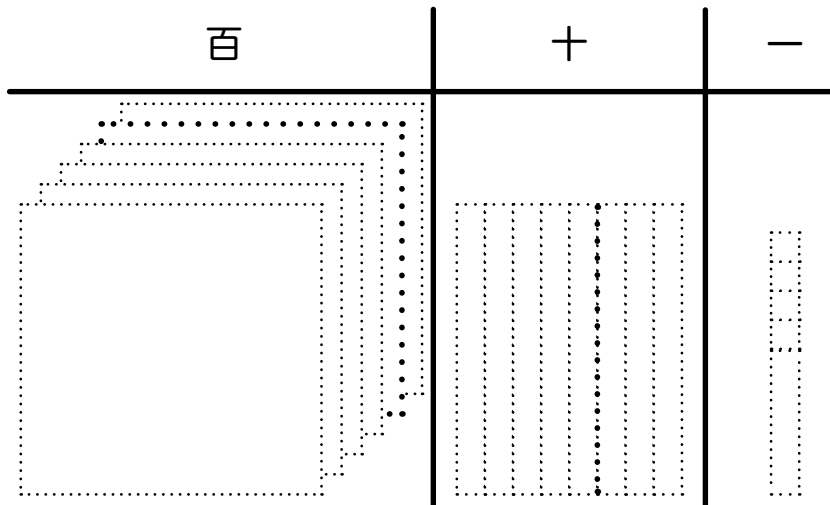
# 【れんしゅう 6】

点線をなぞってタイルをかきましょう。

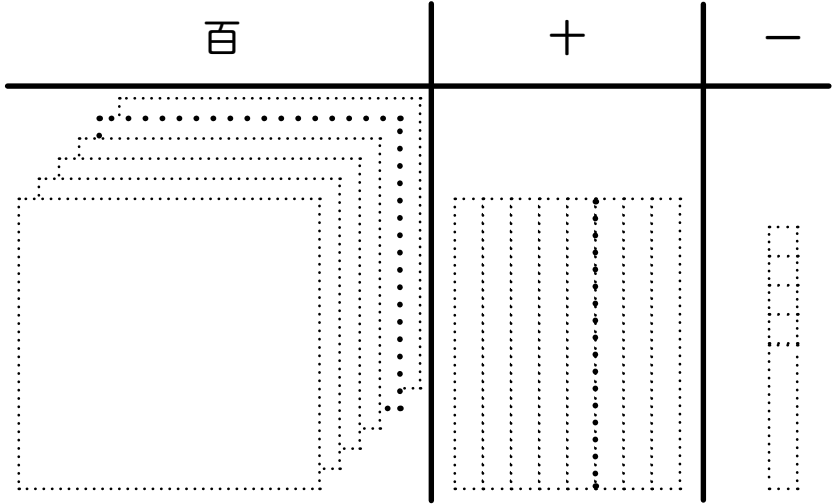
① 二百三十七



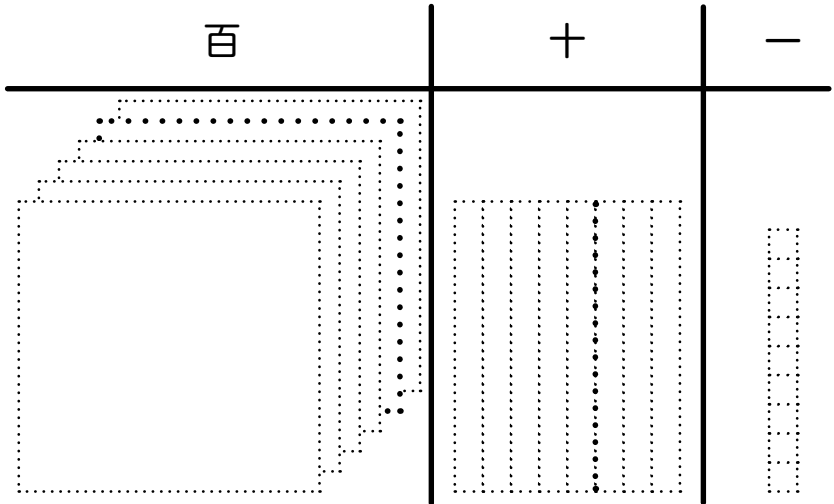
② 四百五十



③ 五百六

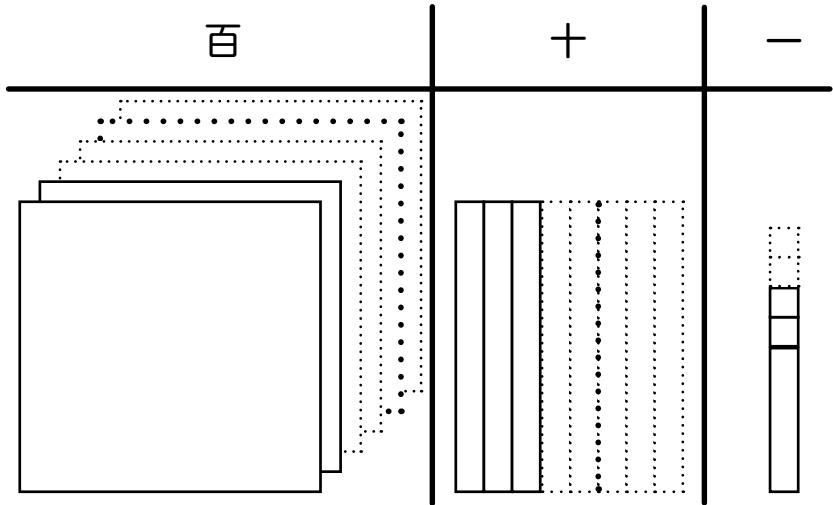


④ 六百四

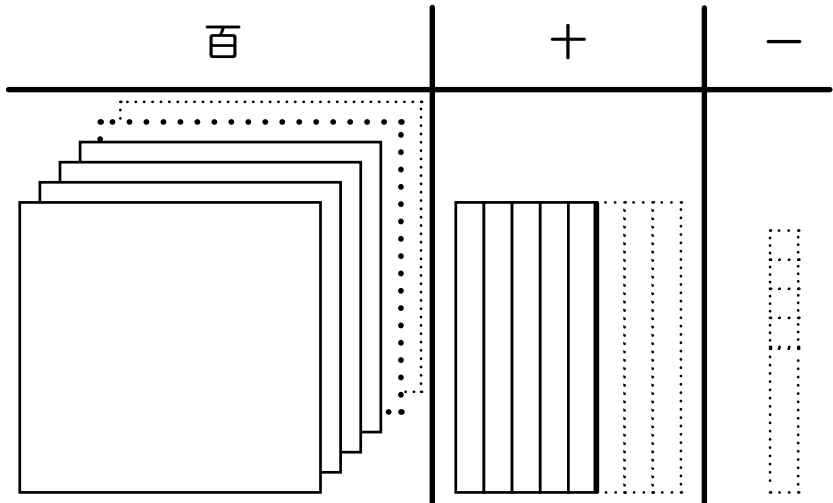


# 【れんしゅう 6 の答え】

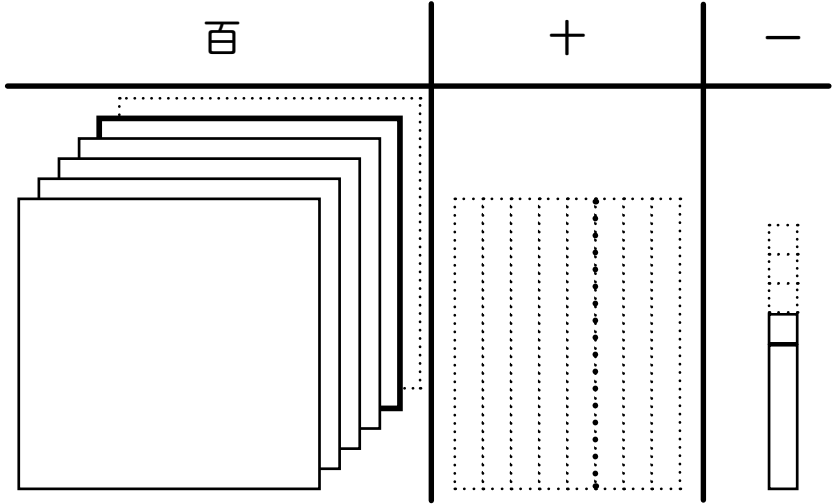
① 二百三十七



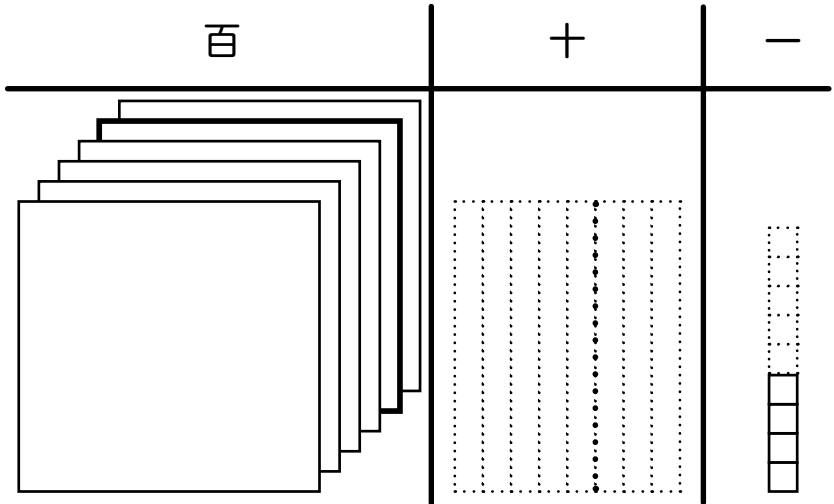
② 四百五十



③ 五百六



④ 六百四



## 【れんしゅう 7】

数字を書きましょう。

①四百九十二 (            )

②七百六十三 (            )

③二百五十四 (            )

④三百七十 (            )

⑤六百三十 (            )

⑥五百六 (            )

⑦百五 (            )

⑧八百九 (            )

⑨九百 (            )

⑩三百 (            )

## 【れんしゅう 7 の答え】

①四百九十二 ( 4 9 2 )

②七百六十三 ( 7 6 3 )

③二百五十四 ( 2 5 4 )

④三百七十 ( 3 7 0 )

⑤六百三十 ( 6 3 0 )

⑥五百六 ( 5 0 6 )

⑦百五 ( 1 0 5 )

⑧八百九 ( 8 0 9 )

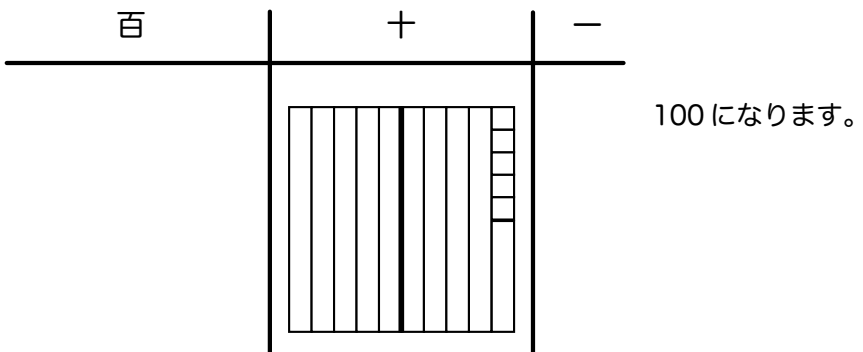
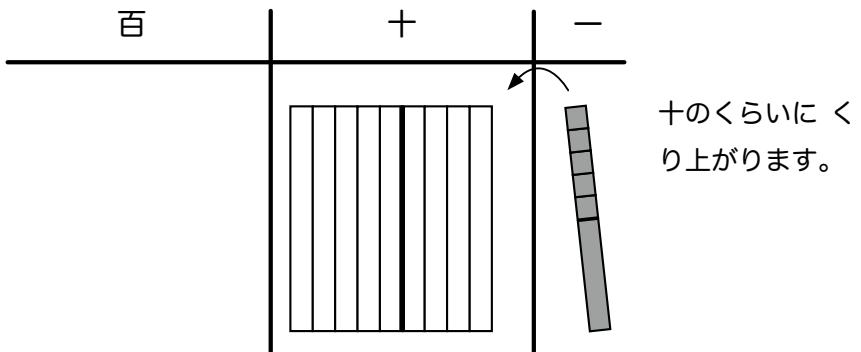
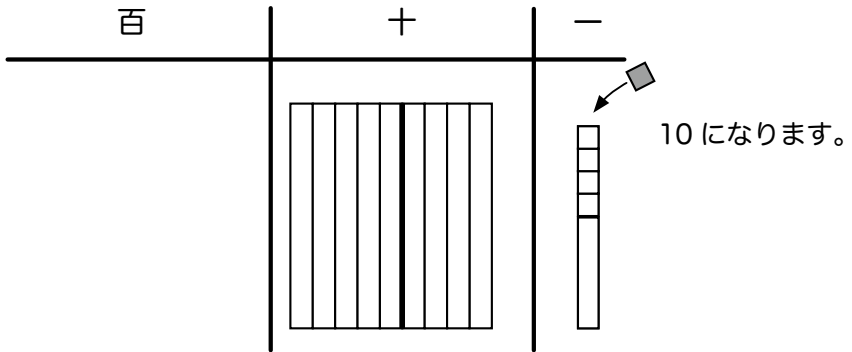
⑨九百 ( 9 0 0 )

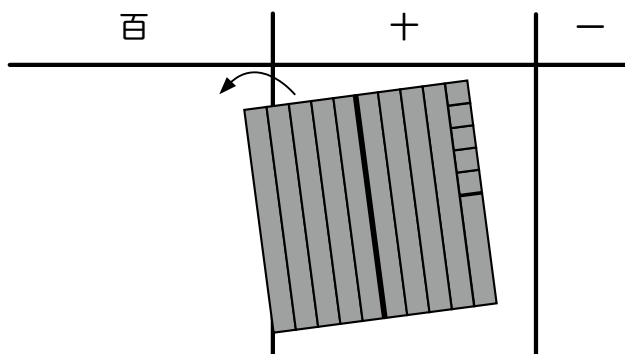
⑩三百 ( 3 0 0 )



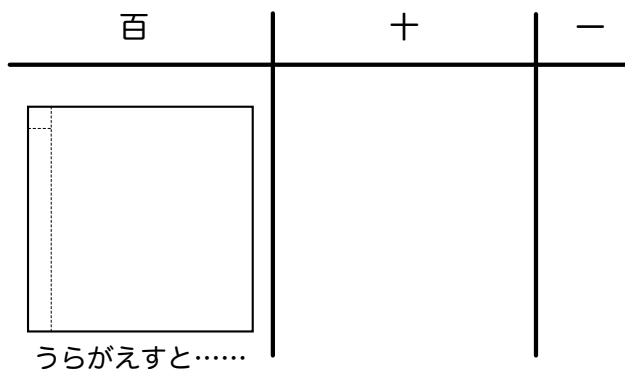
# 99 が 100 になるには

99 に 1 をたしてみましょう。





百のくらいにく  
り上がります。



うらがえすと……

99に1をたすと、2回くり上がって100になります。

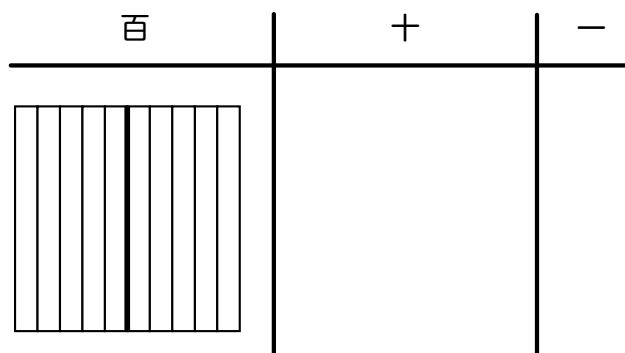
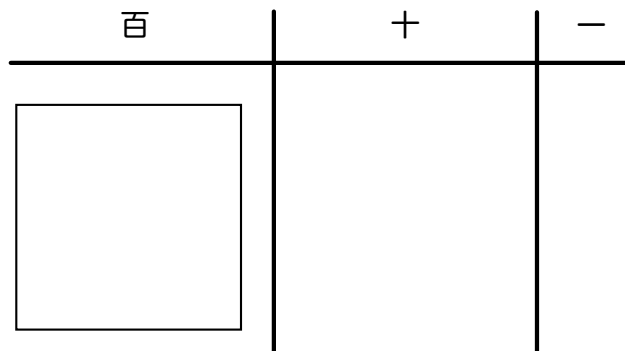
### 《やってみよう》

先生から、90と9と1のタイルをかいた紙をいただいで、今のせつ明と同じことをしてみましょう。くらのく切りは、えんぴつ(2本)をつかきましょう。

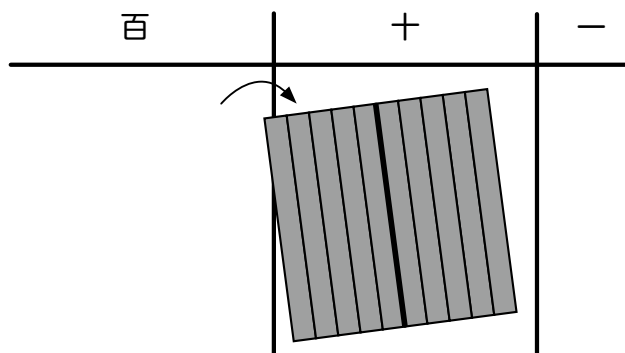
できた人は、先生から、百のタイル2まいをかいた紙をいただいで、199に1をたす計算と、299に1をたす計算を、タイルでしてみましょう。

# 100 が 99 になるには

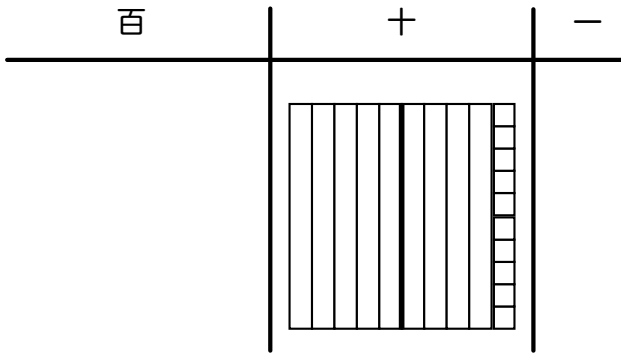
100 から 1 をひいてみましょう。



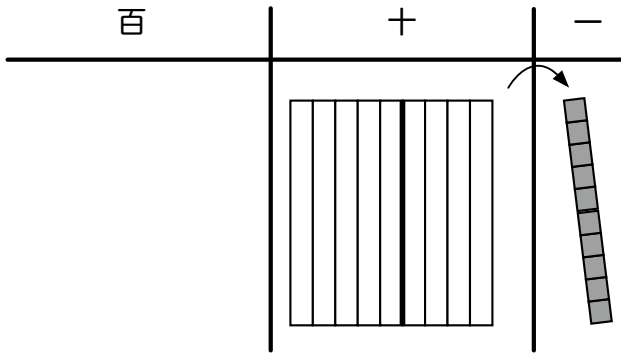
百のタイル 1 まいから、いきなり 1 こは取れないので、十タイル 10 本にします。



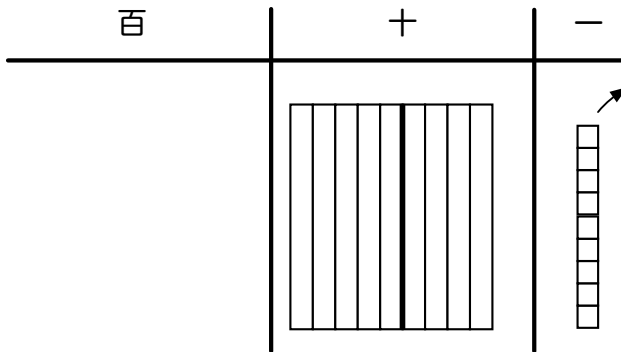
十のくらいに くり下げます。



十のタイル1本から、いきなり1こはとれないので、一タイル10こにします。



一のくらいにくり下げます。

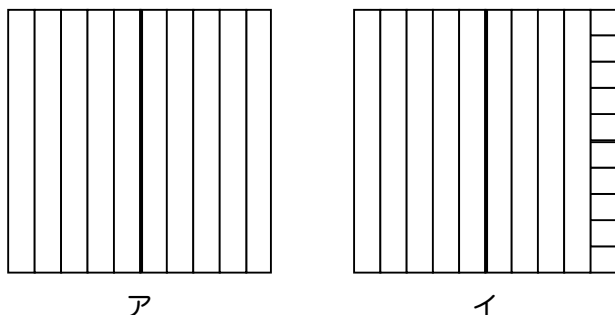


1をとりさります。

100から1をひくと、2回くり下がって99になります。

## 《やってみよう》

先生から、下のアとイのタイルをかいた紙をいただいて、今のせつ明と同じことをしていきましょう。



アは、うらがえすとふ通の百タイル（「百のかんづめタイル」）になります。

イは、作ぎょうのと中で、じっさいにはさみで切りはなしてつかうタイルです。

くらのく切りは、えんぴつ（2本）をつかいます。

できた人は、先生から、イのタイル2まいをかいた紙をいただきましょう。

41 ページの百タイルもつかって、200 から 1 をひく計算と、300 から 1 をひく計算を、タイルでしてみましょう。

## 数のひょう

下のひょうは250～349までの数をならべたものです。

250	251	252	253	254	255	256	257	258	259
260	261	262	263	264	265	266	267	268	269
270	271	272	273	274	275	276	277	278	279
280	281	282	283	284	285	286	287	288	289
290	291	292	293	294	295	296	297	298	299
300	301	302	303	304	305	306	307	308	309
310	311	312	313	314	315	316	317	318	319
320	321	322	323	324	325	326	327	328	329
330	331	332	333	334	335	336	337	338	339
340	341	342	343	344	345	346	347	348	349

数のひょうをたてやよこに見て、気づいたことを言いましょう。

## 【れんしゅう 8】

(ア) 1 ずつ大きくなるように、( ) の中に数字を書き  
ましょう。

①  $98 \rightarrow 99 \rightarrow ( ) \rightarrow 101 \rightarrow ( ) \rightarrow ( )$

②  $196 \rightarrow 197 \rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow ( )$

③  $498 \rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow 502$

④  $695 \rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow ( )$   
 $\rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow 704$

(イ) 1 ずつ小さくなるように、( ) の中に数字を書き  
ましょう。

①  $102 \rightarrow 101 \rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow ( )$

②  $203 \rightarrow 202 \rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow ( )$

③  $402 \rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow ( )$

④  $804 \rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow ( )$   
 $\rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow ( ) \rightarrow 795$

## 【れんしゅう 8 の答え】

(ア)

①  $98 \rightarrow 99 \rightarrow (100) \rightarrow 101 \rightarrow (102) \rightarrow (103)$

②  $196 \rightarrow 197 \rightarrow (198) \rightarrow (199) \rightarrow (200)$

③  $498 \rightarrow (499) \rightarrow (500) \rightarrow (501) \rightarrow 502$

④  $695 \rightarrow (696) \rightarrow (697) \rightarrow (698) \rightarrow (699) \rightarrow (700)$   
 $\rightarrow (701) \rightarrow (702) \rightarrow (703) \rightarrow 704$

(イ)

①  $102 \rightarrow 101 \rightarrow (100) \rightarrow (99) \rightarrow (98)$

②  $203 \rightarrow 202 \rightarrow (201) \rightarrow (200) \rightarrow (199)$

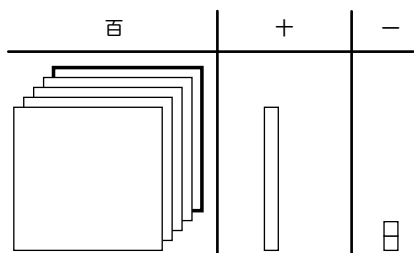
③  $402 \rightarrow (401) \rightarrow (400) \rightarrow (399) \rightarrow (398)$

④  $804 \rightarrow (803) \rightarrow (802) \rightarrow (801) \rightarrow (800) \rightarrow (799)$   
 $\rightarrow (798) \rightarrow (797) \rightarrow (796) \rightarrow 795$

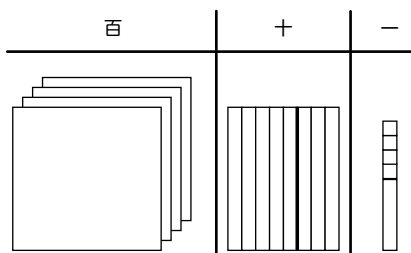


# 大きさをくらべ1

512



489



はじめに、百のタイルの数をくらべます。百のタイルの数が多くの方が大きいです。

つまり、百のくらの「5」と「4」をくらべるといいのです。

## 【れんしゅう9】

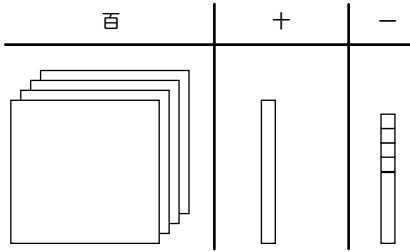
大きい方に○をつけましょう。

① ( 709 , 852 )      ② ( 478 , 399 )

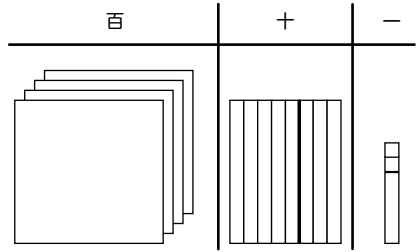
③ ( 510 , 418 )      ④ ( 808 , 980 )

## 大きさをくらべ2

419



487



百のタイルの数が同じ時は、十のくらの数が多い方が、大きいです。

つまり、十のくらの「1」と「8」をくらべるといいのです。

### 【れんしゅう 10】

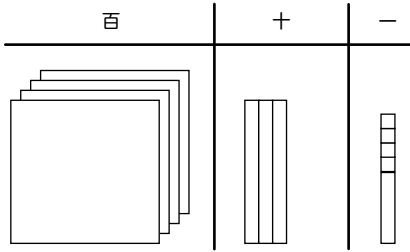
大きい方に○をつけましょう。

① ( 173 , 192 )      ② ( 584 , 579 )

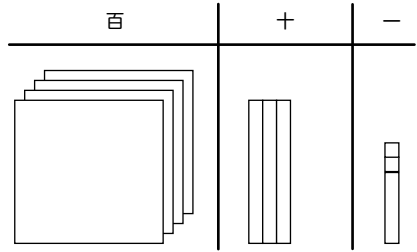
③ ( 680 , 660 )      ④ ( 808 , 880 )

# 大きさをくらべ 3

439



437



百のタイルの数も、十のタイルの数も同じ時は、一のくらの数が多い方が、大きいです。

つまり、一のくらの「9」と「7」をくらべるといいのです。

## 【れんしゅう 10】

大きい方に○をつけましょう。

① ( 173 , 172 )      ② ( 574 , 579 )

③ ( 605 , 609 )      ④ ( 888 , 880 )

【れんしゅう 9 の答え】

① ( 709 , 852 )      ② ( 478 , 399 )

③ ( 510 , 418 )      ④ ( 808 , 980 )

【れんしゅう 10 の答え】

① ( 173 , 192 )      ② ( 584 , 579 )

③ ( 680 , 660 )      ④ ( 808 , 880 )

【れんしゅう 10 の答え】

① ( 173 , 172 )      ② ( 574 , 579 )

③ ( 605 , 609 )      ④ ( 888 , 880 )

## ゲームをしよう

3けたの数を作って、大きさを比べゲームをしましょう。

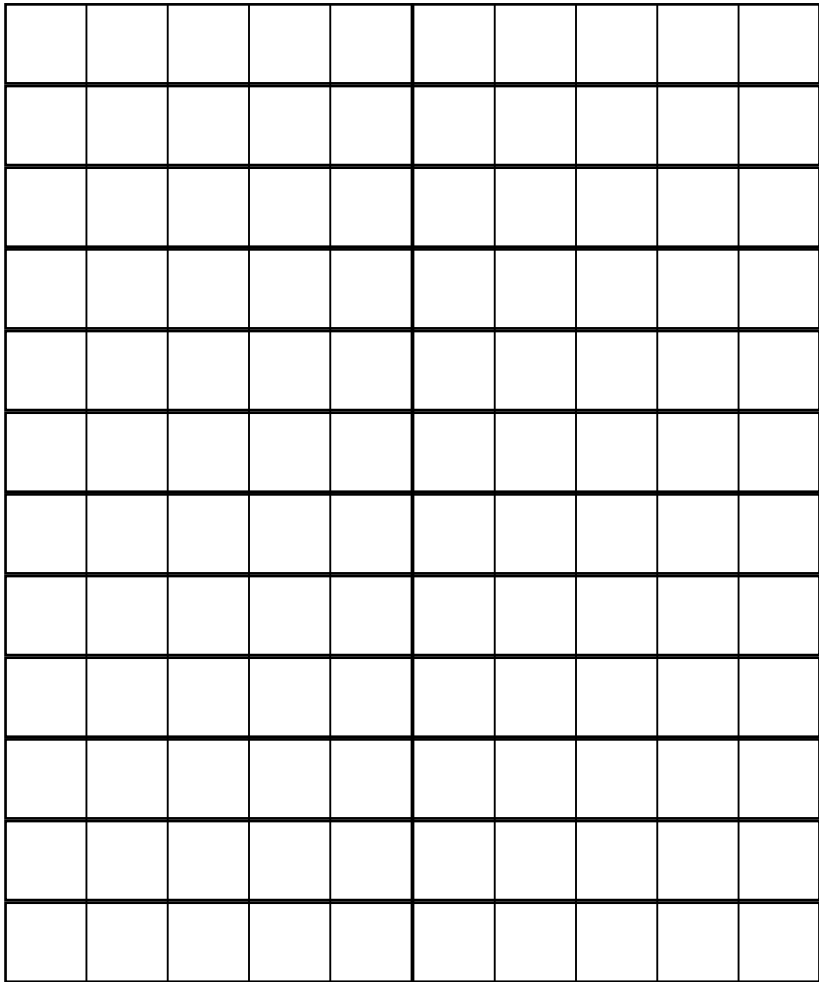
- ①先生から、0から9までの数字を書いた紙をいただきますしょう。
- ②数字の下の四角の中に、自分の出せき番ごうを書きましよう。
- ③カードを切りとります。

### 〈あそび方〉

- ◆3人で組を作ります。(2人でもできます)
- ◆自分が作った10まいのカードを、友だちに見られないように、ばばぬきのようにもちます。
- ◆じゃんけんでかった人が、左がわの人から、1まいカードをぬきます。とったカードは自分の前におもてにしておきます。
- ◆つぎに、今、カードをとられた人が、左がわの人から、1まいカードをぬき、自分の前におもてにしておきます。3人目の人も同じことをします。

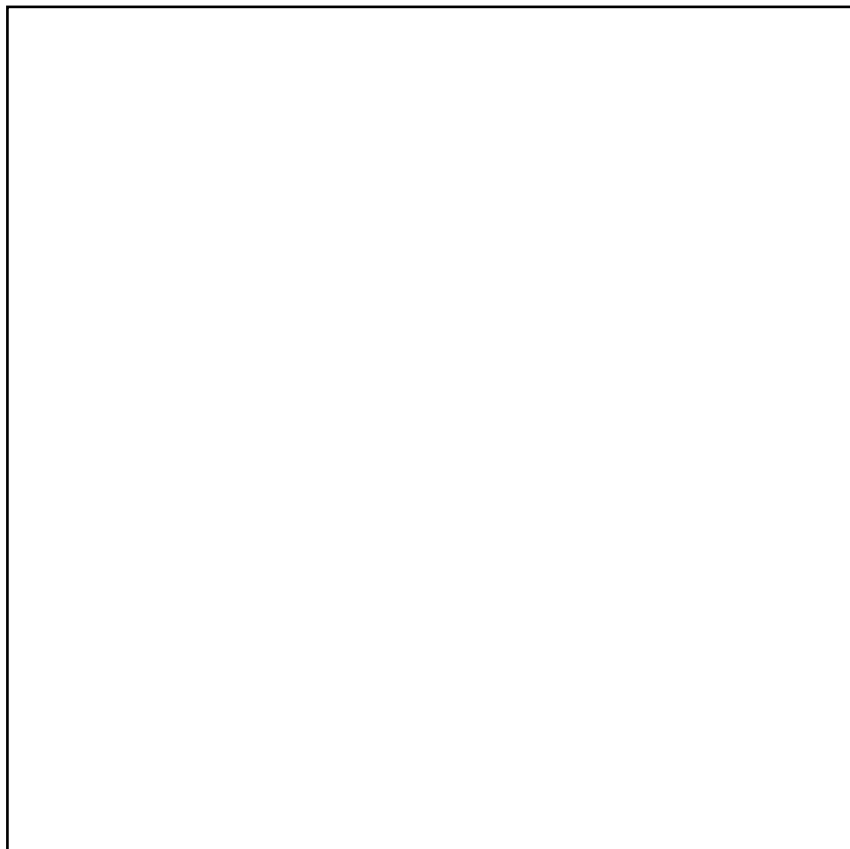
- ◇自分の前にあるこの1まい目のカードの数字が、一のくらいの数字です。
- ◆同じことをあと2回くりかえします。
- ◇2まい目のカードの数字が、十のくらいです。3まい目のカードの数字が、百のくらいです。
- ◆3けたの数字をくらべて、一番大きな数の人がかちです。友だちから、今の3まいのカードをもらいます。かった人は16まい、まけた人は7まいになります。
- ◆2回せん目は、今かった人から時計回りにはじめます。
- ◆3人のうち、だれかが、手もちのカードが2まいになった時は、2けたの数でたいせんします。1まいになった時は、1けたの数でたいせんします。
- ◆先にカードがなくなった人が、まけです。その時、一番多くカードをもっていた人が、一番かちです。かちのこった2人だけで、ゲームのつづきをしないようにしましょう。

## 十タイトルの台紙



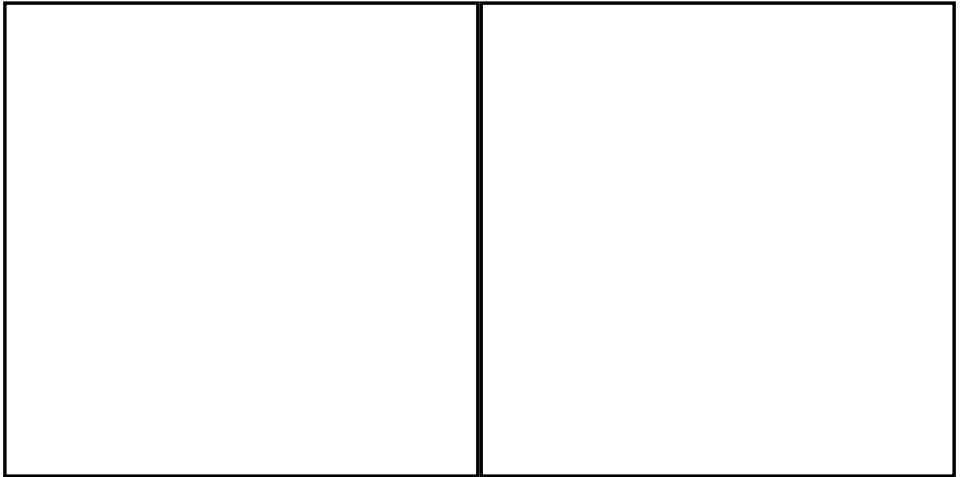
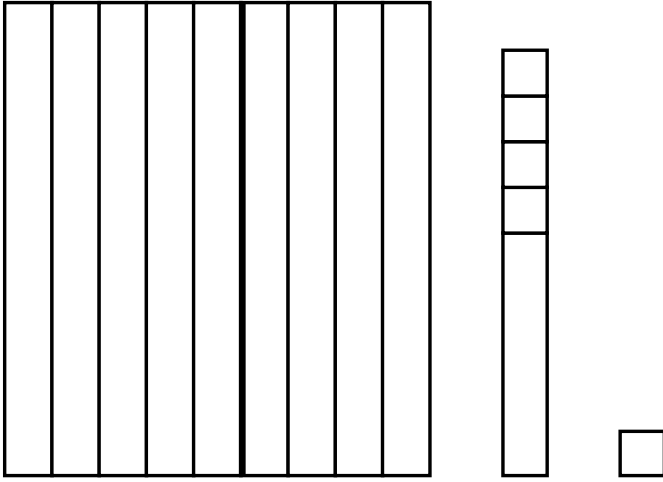
3ページで使います。市販の10角タイル用です。10角タイルは1辺が10mmよりも少し長いようです。ここでは、十タイトルの台紙の寸法を10.8mm×108mmとしています。台紙は1班につき最低23本必要です（この1枚で12本）。厚めの紙に等倍（A5判）で印刷します。

## 大きなタイルの台紙

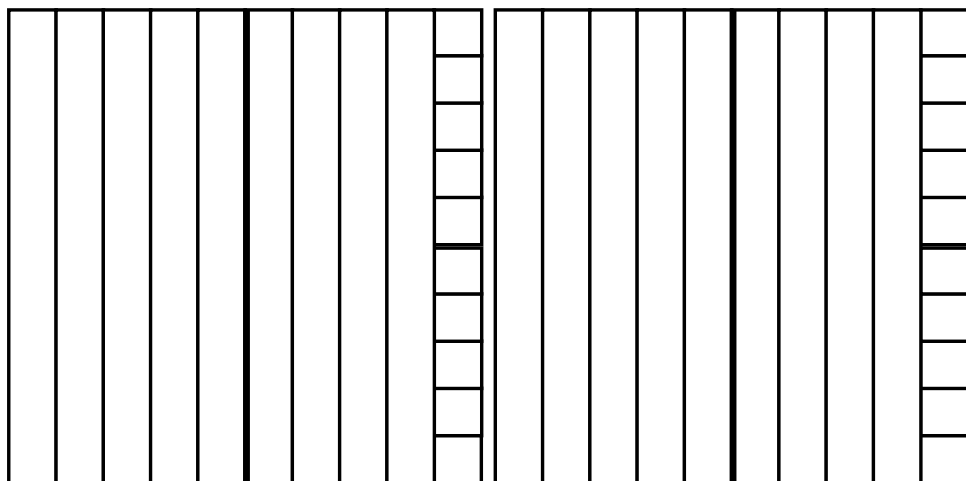
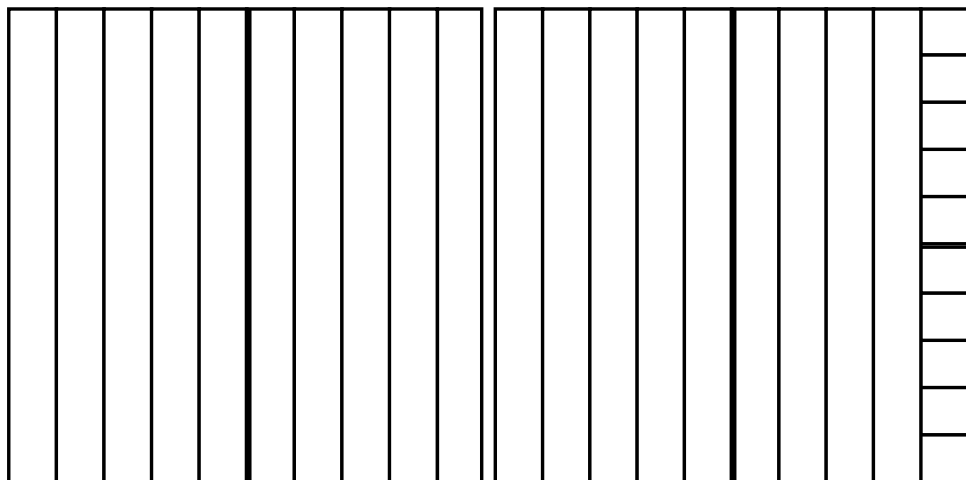


5 ページで使います。この台紙の大きさは、作業の際のあそびを考えて、大きめ（112mm × 112mm）にしています。この台紙は 1 班につき 2 枚必要です。厚めの紙に等倍（A5 判）で印刷します。

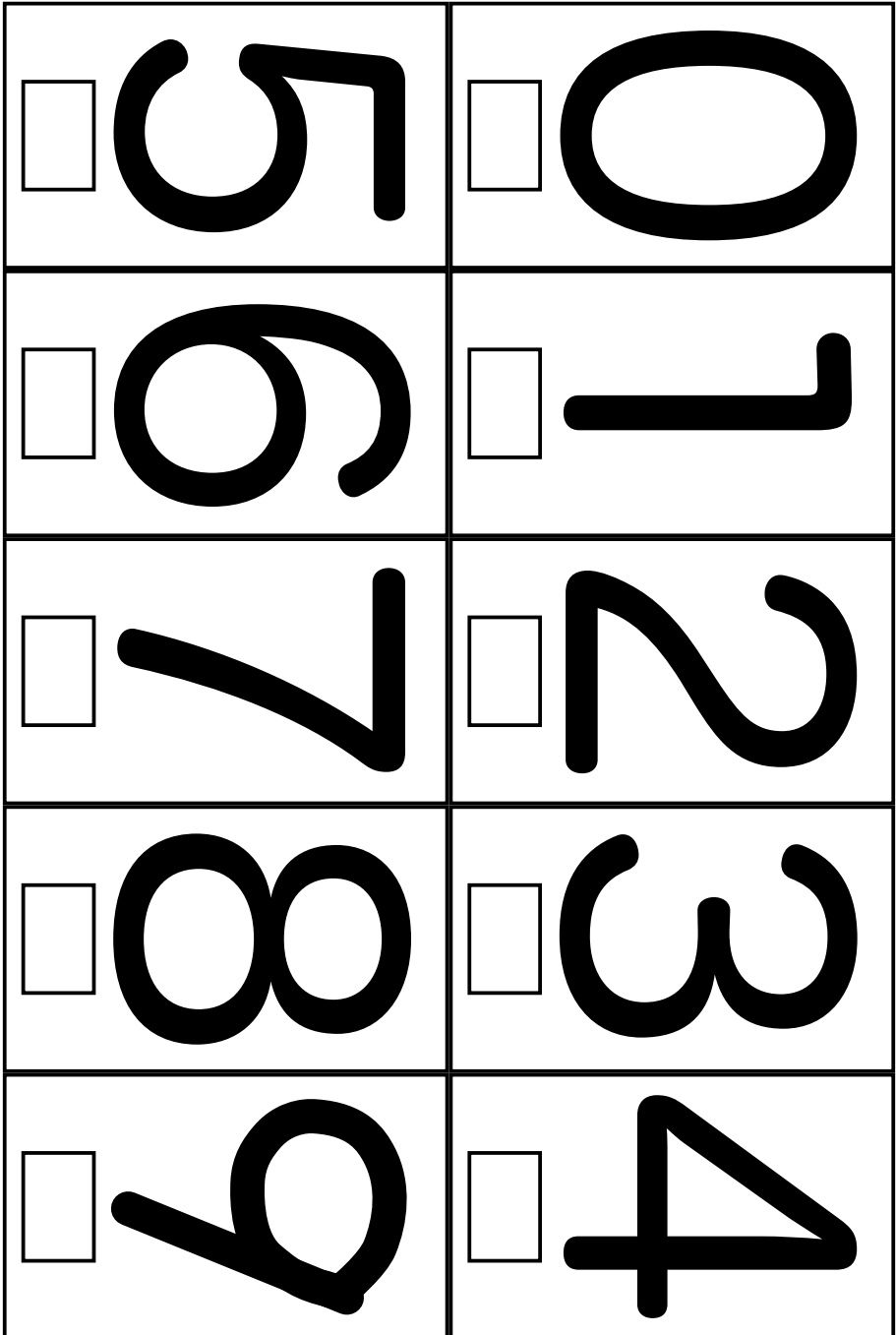




41 ページで使います。まず、上半分を先に渡します。A4 等に拡大印刷すると使いやすくなります。いずれも、タイルを切り取る作業は、児童にさせるとよいでしょう。下半分の百のタイルは、44 ページでもう一度使います。



44 ページで使います。まず、上半分を先に渡します。前ページと同じ倍率で印刷  
します。タイルを切り取る作業は、児童にさせるとよいでしょう。



## 【かんそう】

名前\_\_\_\_\_

このべんきょうは、楽しかったですか。どれかに  
○をつけましょう。

ア 楽しかった

イ ふつう

ウ 楽しくなかった

## 10角タイル

ネットから購入できます。250粒で600円程度です（TILE SHOP ESPACE <http://tile-space.com/tile-shop/> の場合）。（236粒×班の数）必要です。

---

## 研究文献

- 「わかる さんすうの教え方 2」（遠山啓 / 銀林浩 編 むぎ書房刊）
- 「わかる さんすう 2」（遠山啓監修 むぎ書房刊）
- 「らくらく算数ブック 2」（榊忠男・岡田進 監修 / 岡田進 著 太郎次郎社）
- 「こまっとときの算数の教え方 2 年生」（小林道正 監修 / 何森和代 著 大月書店）
- 「さんすうだいすき 8 おおきなかず [100 から 1000 まで]」（遠山啓 著 ほるぷ出版）
- 「新版水道方式入門 整数編」（遠山啓 / 銀林浩 編 国土社）
- 東京書籍・啓林館・大日本図書 各 2 学年算数教科書（2011 年度版）